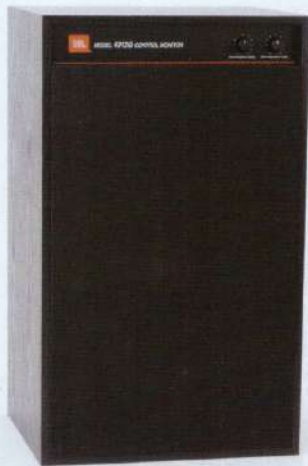




注目モデル

Special Issue

ネットオーディオが我々にもたらしてくれる楽しみは、紛れもなく特別なものだ。そして、その特別を生み出す多種多様な製品は、いまでもその数を増やしている。発表されたばかりの最新モデルから、定番とされる機器の隠れた魅力など、数えきれない程に溢れる注目すべき情報を、ここに厳選して発信したい。



ラインアップが充実してきた カクテルオーディオのミュージックサーバー

2018年ネットオーディオの世界で最も躍進したと言ってもいいブランド、カクテルオーディオ。IT技術とオーディオ的センスの双方を高いレベルで両立し、日々進化を重ねている気鋭のブランドである。同社より、ハイエンドを志向したデジタルトランスポート、X50Proが登場した。同社の製品のラインアップを確認しながら、最新モデルのクオリティと可能性をチェックしてみよう。

Text by 土方久明 *Hisaaki Hijikata*

Photo by 田代法生



COCKTAIL AUDIO X50Pro

ミュージックサーバー/デジタルトランスポート
¥600,000(税別)

使いやすさを徹底した
ミュージックサーバー

2018年はネットワークオーディオの世界で、ミュージックサーバーという先進的なオーディオ機器が一躍注目を集めた年だった。ミュージックサーバーは、本体にHDDやSSDなどの記憶媒体を内蔵し、そこに楽曲ファイルを格納して再生を行う。また、搭載するドライブでCD再生やリップリングも可能で(外づけのUSB・CDドライブを接続するモデルもある)、ネットワーク再生やストリーミングサービスにも対応するなど、一台に多彩な機能を備えているのが特徴だ。さらに、音源の入手からタグ編集まで、デジタル音楽ファイルの管理をパソコンで行えるなど、話題になる多くの先進性があった。

しかし、多機能がゆえ完成度を上げる、つまり使いやすしい製品を作るには、IT関連の高い技術力が必要で、さらに搭載する機能の取捨選択や、操作メニューのユーザビリティを高めるためのセンスも要求される。

そのような課題を見事に克服して大きく存在感を上げたのが、新進気鋭のオーディオブランド、

組み合わせるDAコンバーターの個性を豊かに引き出してくれる

■ 自宅システムに合わせて選べるラインアップ

カクテルオーディオのミュージックサーバーは、大きく分けて3つのシリーズから構成されている。50番台はDAコンバーターを搭載しない、デジタル出力専用のトランスポート。40番台はDAコンバーターを内蔵したプレーヤー。そして30番台はDAコンバーターに加えアンプも内蔵されるオールインワンモデル。CDドライブの搭載や大型のディスプレイ、リモコンの使い勝手の良さなどはどのシリーズでも共通している。そのため、自宅のシステムや予算に応じて適切なモデルを選択することができる。また50番台と40番台は、スタンダードシリーズのほかに、筐体や音質対策に贅を尽くしたハイエンドシリーズがあり、それらは型番末尾に「Pro」と表記される。

また、同梱されるリモコンはTVのリモコンにも似た多機能のものだが、オプションとして高級感あるアルミ仕上げのリモコン「CA-RC1」が新たに用意された。再生やボリューム調整など主要操作に絞ったシンプルな設計になっている。

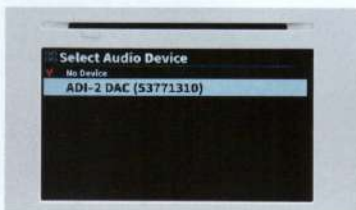
カクテルオーディオのミュージックサーバーに共通して使えるアルミ仕上げのリモコンCA-RC1(¥30,000/税別)。シルバーとブラックの2種類を用意



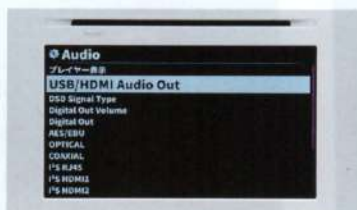
X50Proの背面。デジタル入力として光TOS、Coaxialを搭載、デジタル出力は光TOS、Coaxial、AES/EBU、USB、I2S(HDMI)を搭載するほか、ワードクロック入力も持つ。X50との違いは、Coaxialが1系統減った代わりにI2Sが増設されていること

Specifications

●対応フォーマット:MQA、DSD(DSD 11.2MHz)、DXD(352.8kHz/32bit)、WAV(192kHz/24bit)、FLAC(192kHz/24bit)、APE/CUE、ALAC、AIFF、MP3他●ディスクサポートメディア:CD、CD-DA、CD-R、CD-RW、DVD-R/RW●デジタル出力:RCA同軸×1(S/PDIF、75Ω)、光TOS×1、AES/EBU×1、I2S OUT×3、USB×1、HDMI OUT×1、ワードクロックアウト×1●デジタル入力:光TOS×1、RCA同軸×1●その他の接続:USB 3.0×2(リア)、USB 2.0×1(フロント)、LAN端子×1(オプションでワイヤレス接続も可)、12Vトリガーアウト/イン、HDMI OUT(外部モニター用)●対応ストリーミングサービス:TIDAL、Deezer、Qobuz、Napster、HighResAudio、Spotify Connect●サイズ:441W×111H×330Dmm●質量:13.2kg●取り扱い:(株)トライオード



USB出力で再生する場合、先にUSBケーブルを繋ぐと、出力先に該当のDACが登場する(上図ではRMEのADI-2 DACを使用している)。ここで先に設定しないと音が出ないで注意!



X50Proはトランスポートのため、デジタル出力先をあらかじめ指定する必要がある。USBに加えて、I2S(HDMI)、Optical、Coaxialなどさまざまな出力端子を持っている。I2S受けができるDACはまだ多くないが、大きな可能性を秘めていると言える

カクテルオーディオの製品群。これでもかと言わんばかりの機能性と使いやすさを持ち、しっかりと音質も優れているのが注目された理由だ。

製品に共通するのは、大型のディスプレイを装備していること。再生中の楽曲情報やメニューを大きく表示できるが、そのメニューが分かりやすく、直感的な操作ができる。また、操作は本体のボタンやスマホ/タブレット(専用の操作アプリ「MusicX」)が用

USB出力で再生する場合、先にUSBケーブルを繋ぐと、出力先に該当のDACが登場する(上図ではRMEのADI-2 DACを使用している)。ここで先に設定しないと音が出ないで注意!

X50Proはトランスポートのため、デジタル出力先をあらかじめ指定する必要がある。USBに加えて、I2S(HDMI)、Optical、Coaxialなどさまざまな出力端子を持っている。I2S受けができるDACはまだ多くないが、大きな可能性を秘めていると言える

意されている)のほかに、付属の専用リモコンが利用できる。専用リモコンは操作性が良く、これまで使っていたオーディオ機器を動かすようなイメージで操作ができる。ミュージックサーバーは多機能が高いユーザビリティが求められるが、カクテルオーディオの製品はとにかく使いやすいことが特徴だ。

I2S接続ではリアリティある鮮度高い音が聴ける

まずは、エソテリックD・05 XとUSB接続を行い、ダイアナ・クラールとトニー・ベネットがデュオで歌う「Love Is Her

ここからは、最新モデルX50 Proのクオリティをチェックしていこう。本機はSATA3.5/2.5イン치의HDD/SSDドライブ2機を搭載できる、DAコンバーターのトランスポート。CPUにクアッドコアARM Cortex A9を採用し、高速処理を実現している。さらに電源部の強化とクロック発振器にCrystek製CCHD・575を採用するなど音質対策も万全だ。また、豊富なデジタル音声出力を持ち、I2S(HDMI)接続にまで対応している。

e To Stay」を試聴した。聴感上のS/Nが高く、情報量に優れた音で全帯域のスピード感が秀逸である。レファレンス的な性格を持つ音だ。D・05Xの音質の良い部分がしっかりと表現されている。次にイレブンオーディオのSagrada DACとUSB接続で同曲を再生した。こちらは中域に熱量を感じるSagrada DACらしいエネルギーが生き生きと聴こえてくる。